

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。大学院修了生の皆さん、修了おめでとうございます。県立広島大学学長として、心からお祝いを申し上げます。新型コロナウイルス感染症が蔓延しているため、本日ご臨席を頂くことは叶いませんでしたが、保護者の皆様にも心からお喜びを申し上げます。

例年であればそれぞれのキャンパスで一堂に会しての式典を行っていましたが、新型コロナウイルス感染防止に配慮し、規模を縮小して行うことといたしました。現在の感染状況から判断し、苦渋の選択をしたもので、誠に申し訳なく思っています。

ところで、今皆さんの胸の中には、在学中の様々な思い出が去来していると思います。これまでには、楽しかったことばかりでなく、苦しかったこともたくさんあったことでしょう。特に、コロナ禍での卒業研究や学位論文の作成には大きな苦労があったことと思います。それらを乗り越え、本日を迎えられたことに対して、心からの敬意を表したいと思います。

これからの皆さんが新たな道へ歩いていけるのは、これまでの皆さんの努力によることはもちろんですが、ご家族の方々をはじめ、諸先生方、学友たちといった多くの方々の温かい愛情と限りないご支援のお陰だということを、どうか忘れないでください。それぞれの分野で学んだことを今後の人生に活かし、県立広島大学卒業生・修了生としての自覚と自信をもって、今後の人生を歩んでいただきたいと願っています。

さて、現在、パンデミックをもたらしている新型コロナウイルス感染症は、私たち人類にとって大きな試練となっています。皆さんの在学中の最後の2年間はコロナ禍に見舞われたつらい2年間であったと思います。コロナ禍では、人との関わり合いを減らす面が多く、世界中の人間社会に大きなひずみを生じさせています。皆さんも若いエネルギーを発散させる場を失い、不完全燃焼となって悩んだ人も多かったのではないのでしょうか。昨今のグローバル化の進展により、小さな地域での感染症の発生がすぐに地球規模の問題となって拡散する事態になっています。全世界で多数の死者を出し、防疫のために国境封鎖も起きています。経済活動の大きな打撃は世界的な経済不安となり、混迷は深まるばかりです。しかし、このような時こそ、人類が蓄えてきた「知の力」を活かさなければなりません。そして「知の力」を考えたとき、大学はその中心的な「知の拠点」です。その拠点で学んだ皆さんが今度は社会に出て恩返しをするときがやってきました。それぞれの道で、皆さんの知を活かして活躍してください。大いに期待しています。

ところで、たった一つの言葉が、人の運命を大きく変えることがあります。悩んでいる時に聞いた言葉が勇気をくれたり、人生に迷っている時に目にした言葉が自分の道を見つけるヒントになったりします。私は高校時代、サッカーのキックボードに継続は力なりと大きな字で書かれた言葉をいつも大切にしていました。最後に私からみなさんにアインシュタインの「昨日から学び、今日を生き、明日へ期待しよう」の言葉を贈ります。明日の皆さんに期待しています。本日は誠におめでとうございます。